

節水便器累計出荷 710 万台突破、市場占有率 10%を超える 洗浄水量 6L 以下の便器が主力商品に

洗浄水量が 6L 以下の便器（以下「節水便器」という）出荷台数が、累計で 710 万台を突破しました。

近年、急速に普及している節水便器ですが、日本衛生設備機器工業会がこのたび実施した節水便器の出荷統計調査によると、本年 4 月末の累計出荷台数が 711 万台となることが判明しました。日本衛生設備機器工業会では、市場に約 7,101 万台のトイレが存在すると推計しており、一般的な便器の取換期間を勘案すると、節水便器の普及は 4 月末時点でシェア 10%を超えることとなります。

最新の洗浄水量 6L 以下の節水便器と従来の洗浄水量 13L の便器を比較した場合、50%以上の節水効果があります。洗浄水量を抑えることで、「節水」→「節電」→「CO2 削減」と繋がり、省エネ効果が図れます。また、日本の住宅用トイレすべてが節水型(6ℓ以下)に置き換わった場合、1年で約 6 億 2,500 万 m³もの節水(東京ドーム 504 杯分)が実現でき、CO2 も年間で約 37 万 t の削減となります。

節水型トイレの普及は、低炭素社会実現にも大きく貢献します。

<参考 1：節水量・CO2 削減量 試算方法>

- (1) 水洗便器の市場ストック台数：約 7,101 万台
- (2) 水洗便器使用人数：約 11,359 万人
- (3) 1 日 1 人当たりのトイレで使う水量：
6ℓ超便器使用の場合：約 36.1 ℓ/日・人
6ℓ以下便器使用の場合：約 21.0 ℓ/日・人
- (4) 年間削減水量：11,359 万人×(36.1-21.0) ℓ/日・人×365 日=624,826,205 m³
- (5) 年間 CO2 削減量：624,826,205 m³×0.59=368,648t/年
* CO2 削減量 (Kg) = 節水量 m³×0.59

参考資料

住宅・土地統計調査（平成 15 年）

建物別ストック統計研究会報告書（2002 年 11 月）

環境省 大臣官房廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課「日本の廃棄物処理 H17 年度版」

省エネ・防犯住宅推進委員会「省エネ・防犯住宅推進アプローチブック」

総務省統計局 統計データ「第 2 章 人口・世帯」（2005 年度）

総務省統計局平成 18 年 10 月 1 日現在総人口